

令和4年 第39回たかさき北人権プラザ文化祭開催のご案内

毎年恒例となっている文化祭ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年に引き続き芸能発表は中止とし、作品展のみの開催といたします。ご理解ください。

■ 開催日程：11月18日（金）～20日（日）午前9時～午後4時（最終日は午後1時まで）

■ 展示内容：木目込み人形・水彩画・生け花・俳句

※ 健康確認のため、来館前の検温をお願いいたします。

※ マスクの着用等感染防止対策にご協力ください。

※ 新型コロナ感染症拡大状況を考慮し、中止となる場合があります。



12月4日～10日は人権週間です。



昭和23年（1948年）12月10日の国際連合第3回総会において「世界人権宣言」が採択されました。そのことを記念して、昭和24年（1949年）に法務省と全国人権擁護委員会連合会が、12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を全国的に展開することとし、今年で74回目を迎えます。

皆様もこの機会に今一度、人権について考えてみていただけたら幸いです。

たかさき北人権プラザにおいても、人権の大切さを踏まえ、人権意識の高揚と人権課題の解決に向けた事業を展開してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



ハンセン病と新型コロナウイルス感染症

～正しい知識と冷静な行動で、あらゆる感染症の拡大と人権侵害を防ごう～

ハンセン病は、「らい菌」に感染することで起こる病気であって「らい病」と呼ばれており、明治6（1873）年に「らい菌」を発見したノルウェーの医師、アルマウエル・ハンセンの名前に由来します。

治療薬がない時代は、知覚麻痺や、皮膚や手足の変形をおこすなど、重い後遺症がでることがありました。遺伝病と誤解されたり、患者を一般社会から隔離する政策がとられたことで、偏見、差別の対象となりやすかったのです。

現在では、遺伝病ではなく、原因となる「らい菌」は非常に病原性が弱く、治療できる事、早期治療により後遺症を残さず治せることが分かっています。正しく理解し、ハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくしましょう。

★二度と同じ過ちを繰り返さないように

現在、新型コロナウイルス感染症の患者さんの数が減らない状況が続いています。あらゆる感染症に対する誤った知識や見解が、感染症患者等に関する誹謗中傷などの偏見や差別などにつながります。

同じ過ちを繰り返さないために誰もが感染者になる可能性のある今こそ、正しい知識と理解を持ち、お互いを思いやり行動しましょう。

ワクチン接種を終えた方へ

ワクチン接種を打ち終えても、新型コロナウイルスには感染する可能性があります。

あくまで、かかった時の症状が重症化しない、あるいはかかりにくくなるだけであって、感染しないわけではありません。

引き続きマスクの着用、来館時の検温等感染防止対策にご協力ください。よろしくお願いいたします。



たかさき北人権プラザ 交通のご案内



【駐車場】約20台

【バ ス】関越交通バス

高崎駅西口バスターミナル5番

渋川駅行き又は群馬温泉行き

《福島》バス停下車（徒歩8分）

ぐるりん こうづけ国分寺線

《中泉団地南》バス停下車

300メートル（徒歩6分）